

産業構造審議会 基本政策部会

中間取りまとめのポイント

**表題： 少子高齢化時代における活力ある経済社会に向けて
—経済成長と持続可能な社会保障の好循環の実現—**

I はじめに

～経済成長と持続可能な社会保障の好循環を形成するための改革は待ったなしの課題であり、これ以上の先送りは許されない。

II 少子高齢化時代における活力ある経済社会のあり方

経済社会の現状

～我が国は世界最高の長寿社会へ。今後、我が国の現役世代は、他の先進国の倍近い数の高齢者を支えることに。

～労働供給量の減少等により我が国経済の潜在成長力は低下。東日本大震災は、我が国の財政・経済に更なる悪影響。

～90年代以降、高齢化により社会保障費が増大する一方、安定財源の確保が先送りされ、財政赤字が拡大。

社会保障の現状

～高齢化に伴い、社会保障の給付・負担は2025年度に約150兆円（対GDP比で約25%）にまで拡大し、大陸欧州諸国の水準に近づく。

～給付面では、高齢世代向け支出は北欧・欧州諸国の水準と遜色ない水準にある一方、家族・労働など現役世代向け支出は少ない。

～負担面では、給付と負担が均衡しておらず、赤字国債で穴埋め。将来世代の負担が拡大しており、世代間格差は国際的にも突出して大きい。

経済成長と社会保障の関係

～経済成長によるパイの拡大があってはじめて、産業や雇用の創出、税収や社会保険料収入の増加、支出抑制を通じて社会保障の持続可能性を確保。

～持続可能な社会保障は、国民や企業の将来不安を解消し、消費や投資を活性化することを通じて、経済成長を下支え。

～将来世代への負担先送り解消が不可欠。また、現役世代の負担能力に限界があることから、本当に必要な方に提供されるよう給付の重点化を進めつつ、必要な財源は全ての世代が負担能力に応じて公平に負担すべき。

Ⅲ 社会保障給付のあり方

基本的な考え方

～①本当に必要とする方にサービスが提供されること、②自助の支援を出発点とし、自助、共助、公助を適切に組み合わせること、③民間活力を積極的に活用することを基本原則に、給付の重点化を進めるべき。

医療介護

～公的保険外の民間サービスの創出、医療提供体制の重点化、IT利活用の促進、民間事業者の参入促進、医療関連産業の高度化と国際競争力強化。

～軽微な療養に対する保険免責制の導入、後発医薬品や市販品類似薬の薬価等見直し、軽度者の介護保険対象からの除外。

～保険者機能の強化、予防のインセンティブ付与（おたっしゅポイント）。

年金

～高所得者の基礎年金給付を減額し低所得者の基礎年金等に充当、雇用環境の整備を条件に年金支給開始年齢の段階的引き上げを検討。

～マクロ経済スライドのデフレ下における実施、公的年金・企業年金の運用強化、世代会計の導入。

～私的年金の活用促進（確定拠出年金におけるマッチング拠出解禁の早期実現及び拠出限度額の引き上げ等）、リバースモーゲージ活用促進。

子育て

～保育分野における株式会社等の新規参入の促進。

～保育バウチャー、保育人材の確保。

IV 社会保障を支える負担のあり方

現役世代や事業者の負担のあり方

- ～少子高齢化により現役世代の負担能力には限界があり、全ての世代の公平な負担が重要。
- ～国際的に見て我が国企業の社会保険料負担や法人税負担は重く、これ以上の負担増は震災後に空洞化リスクが一層高まる中、国内の雇用維持に支障。

具体的な負担のあり方

- ～社会保障給付を賄うためにやむを得ず増税を行う場合には、財源としての安定性、公平・公正な負担という観点や経済への影響、企業の競争環境という面を考慮すると、増税の時期・制度設計等については留意しつつも、消費税を上げることにより、財源の確保を図るべき。

V 長寿社会における成長戦略

- ～高齢者消費は、2020年に約142兆円まで拡大する可能性。
- ～全ての世代の就労が進めば、2020年まで労働力人口を維持可能。

全ての世代の就労促進

- ～生きがい就労の場の創出、中小企業等とのマッチング、高齢者の就労意欲を高める就労環境の整備、教育や社会福祉分野における就労機会の創出による高齢者の就労促進。
- ～育児休業制度見直し、子育て環境整備、ワーク・ライフ・バランスの確保による女性の就労促進。
- ～実践的な産学協働教育、中小企業等とのマッチング、グローバル人材化による若者の就労促進。

ライフ・イノベーション

- ～研究開発・治験環境の整備、ものづくり技術を活かした医療機器関連産業の支援、海外展開支援により、医療機器・医薬品産業の高度化・輸出産業化。

シルバー・イノベーション

- ～高齢者向けの新商品・新サービスの普及等を通じた高齢者消費の活性化。
- ～高齢者の生活しやすいコミュニティ作り。